

西暦	元号	月	福岡商工会議所のあゆみ	月	主な出来事
1878	明治11			3	東京商法会議所設立認可
1879	明治12	10	福岡商法会議所設立認可（事務所を第十七銀行内に置く）		
1880	明治13				
1881	明治14	12	横浜生糸紛議で荷預所を支援	4	農商務省を設置
1882	明治15			4	第1回九州沖縄8県連合共進会を長崎で開催
				6	日本銀行条例公布
1883	明治16				
1884	明治17				
1885	明治18	1	福岡商法会議所規程（定款）を決定		
		2	事務所を「いろは館」（麹屋町22番地）に移転	12	太政官制を廃止し内閣制度を置く、第1次伊藤内閣
1886	明治19				
1887	明治20			3	第5回九州沖縄8県連合共進会を東中洲で開催
1888	明治21	7	商法会議所を改組し福岡商工会と改称、博多行町56番地に移転	6	九州鉄道会社設立
1889	明治22			2	大日本帝国憲法発布（M23.11.29施行）
				4	福岡市市政 施行
				7	博多港、特別輸出港に指定される
				12	九州鉄道、博多～千歳川仮停車場間開通、博多駅開業
1890	明治23			7	第1回衆議院議員選挙実施
				11	第1回帝国議会開く
1891	明治24	7	新条例による博多商業会議所の設立認可		
		10	本会議所初の会員選挙		
		12	定款認可、事務所を博多東中洲210共進館内におく		
1892	明治25	5	私設鉄道買収の儀につき帝国議会へ請願	9	全国商業会議所連合会（日商の前身）創設
		9	「職工税」創設の儀につき福岡県知事に開申		
		10	日韓貿易調査委員（磯野七平、岡部寛）が訪韓		
1893	明治26	6	日本銀行西部支店開設の儀につき大蔵大臣に建議		
1894	明治27	5	九州本土間海底電信線架設の儀につき貴衆両院へ請願	8	清国に宣戦布告（日清戦争）
1895	明治28			4	日清講和条約調印
1896	明治29	4	第5回全国商業会議所連合会総会を福岡市で開催、関門海峡海底鉄道布設建議を上程するも否決	3	博多電燈（株）設立
		6	開港場増設の儀につき農商務、大蔵、外務大臣に建議及び貴衆両院に請願	10	博多港、特別輸出入港に指定
1897	明治30	11	商業会議所連合会で営業税の廃止を決議	11	博多電燈（株）開業、福岡市内に初めて電燈灯る
1898	明治31	3	本所に「福岡県商工相談所」を開設		
		5	商業学校設立の儀につき福岡市長に建議		
		//	商品陳列所の開設の儀につき福岡県知事に稟議		
1899	明治32			7	福岡市商業学校設立認可
				8	博多港、関税法により国際貿易港として開港指定
1900	明治33			4	株式市場大暴落、各地に金融恐慌
1901	明治34	2	金融界の動揺を防ぎ、貯蓄奨励運動推進を九州各県知事に要望		
1902	明治35	2	博多商業会議所新築落成式（東中洲111番地）		
		3	商業会所法公布（商業会議所条例廃止）		
1903	明治36			4	京都帝国大学福岡医科大学（現在の九大医学部）開校
1904	明治37	12	韓国航路開設を福岡市長に啓申	2	ロシアに宣戦布告（日露戦争）
1905	明治38	7	福岡、東京間の長距離電話架設の儀につき開申	6	博多～釜山指定航路開航
				9	日露講和条約調印
1906	明治39			3	福岡県物産陳列場が開場式
1907	明治40				
1908	明治41				
1909	明治42				
1910	明治43	3	第13回九州沖縄8県連合共進会、薬院肥前堀埋地跡（現在の天神1丁目地区）で開催	3	福博電気軌道、福岡市内電車（大学前～西公園、呉服町～博多駅前）、営業開始
1911	明治44			1	九州帝国大学 設置
				2	日米新通商航海条約調印、初めて関税自主権確立
1912	明治45 大正元			7	明治天皇崩御、大正と改元
1913	大正2	5	福岡県商工団体連合協議会を結成		
1914	大正3			7	第1次世界大戦勃発
1915	大正4			4	福岡県新庁舎開庁式
1916	大正5				
1917	大正6				
1918	大正7	6	福博発展期成会で博多駅の移転を決議	11	第1次世界大戦終わる
1919	大正8	4	商業会議所西部連合会で日本大博覧会開催を建議		
		6	博多商工会議所報創刊（B5版、毎月発行）		
1920	大正9				
1921	大正10	7	博多部に二等郵便局設を建議		
1922	大正11			12	アインシュタイン博士来福、大博劇場で講演
1923	大正12	1	東中洲大火で本会議所焼失、東邦電力支社へ事務所移転	9	関東大震災起こる
		10	西部商業会議所協議会で震災善後措置を建議	11	博多郵便局開局
1924	大正13	12	博多商業会議所落成式を挙行		
1925	大正14	3	日本銀行福岡支店の設置を要望	1	日ソ基本条約調印（国交回復）
		//	福岡放送局の開設を陳情	4	福岡～大阪間の定期航空便運航

西暦	元号	月	福岡商工会議所のあゆみ	月	主な出来事
1926	大正15 昭和元	2	博多駅付近地下道開設を要望	12	昭和と改元
		7	博多港の重要港編入を要望		
1927	昭和2	3	東亜勸業博覧会を開催。福岡市の産業・交通・観光・物産の案内書を作成、観光客誘致に努める。	3	金融恐慌起こる
		5	全国商業会議所連合会臨時総会を福岡市で開催、恐慌の善後策を決議	11	博多港、第2種重要港湾に指定
		6	金融恐慌による商工業者向け緊急対策の実施を要望	12	東京地下鉄、上野～浅草間開通
1928	昭和3	6	商工会議所法施行に基づき、博多商業会議所を博多商工会議所へ改編	2	日本初の普通選挙実施
				5	日本商工会議所設立
1929	昭和4			10	米国で株価大暴落、世界恐慌へ
1930	昭和5	12	市内の各商工業者と不況対策懇談会を開催		
		"	中小商工業者への資金融資などを要望		
1931	昭和6	11	福岡（名島）飛行場付近に陸上飛行場の急設を陳情	9	満州事変起こる
1932	昭和7			5	5.15事件起こる（犬養首相殺害）
1933	昭和8	1	福岡県物産協会を設立	3	日本、国際連盟脱退
		7	工場誘致に関し福岡市へ要望		
1934	昭和9				
1935	昭和10				
1936	昭和11			2	2.26事件起こる
				6	雁の巣陸上飛行場竣工式
				12	福博商店連盟を結成
1937	昭和12	4	福岡市商工相談所を設置	4	福岡市、工場建設奨励規定を施行
		7	日本銀行福岡支店の早期設置を陳情		
1938	昭和13				
1939	昭和14			3	博多港、第1種重要港湾に指定
				9	第2次世界大戦始まる
1940	昭和15				
1941	昭和16			12	日本銀行福岡支店開設
				"	太平洋戦争始まる
1942	昭和17			11	関門海底トンネル下り線開通
1943	昭和18	3	新生大南方展覧会開催、20年後の大福岡想図を発表		
		10	福岡県商工経済会発足（博多商工会議所は解散、福岡支部となる）		
1944	昭和19	11	第1回珠能力検定試験施行		
1945	昭和20			6	福岡大空襲（本会議所も被災）
				8	日本、無条件降伏、第2次世界大戦終わる
1946	昭和21	10	社団法人福岡商工会議所創立総会開催	4	経済同友会設立
		12	社団法人日本商工会議所設立	8	経済団体連合会創立
		"	福岡県商工会議所連合会設立		
1947	昭和22	4	福岡市商店街連盟の設立に尽力、創立総会開催	5	日本国憲法施行
		5	祭り振興会を設立、博多どんたくを復活		
		8	九州地区商工会議所連合会結成		
		10	誓文払いを開催		
		11	福岡観光協会の設立に尽力、創立総会を開催		
1948	昭和23			4	通商産業省設置
				7	中小企業庁設置法公布（23.8.1開庁）
				9	取引高税を実施
				10	新設の平和台競技場で第3回国民体育大会を開催
1949	昭和24	1	第1回店頭装飾競技大会を開催	3	福岡県信用保証協会設立
		9	第1回全九州珠算競技大会を当所で開催	6	福岡証券取引所開設
				8	中小企業庁開庁
1950	昭和25	5	福岡中小企業相談所を開設		
		10	“商工まつり”を福岡市と共催、多大の成果		
1951	昭和26	2	税務相談所を中小企業相談所に併設	1	博多港、重要港湾に指定
		7	第1回福岡市経済人余技展を岩田屋にて開催	2	西鉄ライオンズ誕生
				10	板付空港、民間航空再開
				11	日本航空、東京～大阪～福岡間定期運行開始
1952	昭和27				
1953	昭和28	10	商工会議所法施行		
		"	九州大学に建築学科の新設を要望		
1954	昭和29	6	新法に基づき特殊法人福岡商工会議所として発足		
		11	第1回簿記検定試験を施行		
1955	昭和30	3	特定商工業者登録制度の認可に伴い実施、法定台帳を作成	4	福岡市、人口50万人を突破
1956	昭和31			4	NHK福岡テレビ局開局
				10	西鉄ライオンズ、日本シリーズ初優勝
1957	昭和32	3	博多どんたく港まつり振興会創設	11	大相撲九州場所開幕
		4	福岡県小口事業資金融資制度運営委員会を設置		
1958	昭和33				
1959	昭和34	3	出先官庁の合同庁舎建設促進を要望	7	最低賃金法施行
		8	新卒者初任給実態調査実施		
		10	第1回繊維卸見本市を開催		
1960	昭和35	1	第1回新年祝賀会開催	1	三井三池鉱産でロックアウト、無期限ストに突入
		2	西鉄大牟田線高架化促進を要望	12	博多～釜山定期航路第1船就航

西暦	元号	月	福岡商工会議所のあゆみ	月	主な出来事
		3	会議所ビル建設用地に市有地の払い下げ要望		
1961	昭和36			4	九州・山口経済連合会発足
1962	昭和37	5	福岡市民の祭り振興会設立		
		6	新幹線の九州までの延長を要望		
			// 福岡珠算振興会設立		
1963	昭和38	4	福岡商工会議所“所報”発刊（毎月15日）	12	民衆駅として国鉄博多駅開業
1964	昭和39			10	東海道新幹線、東京～大阪間開業
					// 東京オリンピック開催
1965	昭和40	3	第1回優良従業員表彰式実施		
		7	合同庁舎の博多駅周辺建設を陳情		
1966	昭和41	6	第1回福岡市のモデル賃金調査実施		
1967	昭和42				
1968	昭和43				
1969	昭和44	2	大型店舗実態調査実施	2	福岡市商店街百貨店連盟結成
		11	福岡商工会議所人会創立総会		
1970	昭和45	12	福岡商工会議所ビル竣工		
1971	昭和46				
1972	昭和47	2	福岡市民の祭り「どんたく広場」の実現を要望	4	福岡市、政令指定都市に昇格
		11	退職金共済、会員事業所共済の2制度を創設	5	沖縄、全面返還される
			// 西鉄街、因幡町、銀座通一体化ビル建設促進協議会設置		
		12	新幹線博多乗り入れ影響予測調査実施		
1973	昭和48	6	市内5区に支所、出張所を開設	10	オイルショック、原油価格一挙に4倍へ
		10	小規模企業振興委員制度発足		
			// 小企業経営改善資金融資制度創設される		
1974	昭和49	3	福岡外環状線の建設促進を要望	3	大規模小売店舗法施行
		5	福岡市商業近代化推進協議会を設置		
1975	昭和50	4	地場企業の景気・経営動向調査実施	3	山陽新幹線、博多駅まで営業開始
				7	福岡流通センター竣工
				10	福岡市、人口100万人を突破
1976	昭和51	2	会員企業従業員に対する成人病集団検診開始		
1977	昭和52	1	福岡空港の国際線関係官庁（CIQ）施設の拡充を要望		
		7	経営者年金共済制度を創設		
		12	主要都市の国際会議場設状況調査		
1978	昭和53	10	求人企業合同説明会開催	3	西鉄大牟田線、平尾～大橋間高架工事完了
			// 商工会議所100年記念式典、東京で開催（郷土祭に博多祇園山笠出演）		
1979	昭和54	10	福岡商工会議所創立100周年記念式典（九電記念体育館）	5	大規模小売店舗法改正施行
		11	第15回日米市長・商工会議所会頭会議、福岡市で開催		
1980	昭和55	4	倒産防止特別相談室設置、商工調停士委嘱	10	福岡都市高速道路開通
		5	“博多どんたく港まつり”に戦後最高の300団体、3万人が参加、人出も270万人		
1981	昭和56	8	当所会員企業10,000社を突破 （東京、大阪、横浜、名古屋、札幌に次ぐ）	7	福岡市営地下鉄、室見～天神間開業
				10	福岡県庁、東公園に新築移転
1982	昭和57	2	食品まつり「第1回博多うまかもん市」開催	5	旧西区が城南・早良・西区に分区、7区制に
1983	昭和58			3	福岡市営地下鉄1号線全線開通、筑肥線と相互乗り入れ開始
1984	昭和59				
1985	昭和60	2	第1回ふくおか経済人余技展を開催	1	日本過去最高の貿易黒字
1986	昭和61	1	地下鉄1号線の福岡空港まで延伸について要望		
		11	簿記検定試験、年間受験者1万人を突破		
1987	昭和62			4	国鉄分割民営化
1988	昭和63	5	“どんたく広場”を国体道路から明治通りへ移動	7	福岡市、人口120万人を突破
				10	福岡ダイエーホークス誕生
1989	昭和64 平成元	4	釜山商工会議所との業務提携調印式	1	平成に改元
		5	消費税の導入に向け“消費税特別相談コーナー”を設置	3	アジア太平洋博覧会「よかトピア」開幕 （171日間、入場者820万人）
		12	新国際空港建設計画の促進を要望	4	消費税導入実施
1990	平成2	7	“博多商人塾”を福岡市と共催で実施	7	博多港、特定重要港湾に指定 （平成11年4月 国際拠点港湾に名称変更）
		11	第1回ランチコミュニケ（支店長会）を開催	9	第45回国民体育大会（とびうめ国体）開催
					// 第1回アジアマンス開幕
1991	平成3	2	第1回福岡経済講演会を開催		
		10	博多伝統芸能振興会設立、第1回“博多をどり”を開催		
1992	平成4			1	企業倒産1万件を突破（負債総額史上最高の8.15兆円）
1993	平成5	1	福岡空港将来構想検討委員会（県・市・当所で構成）を設置	3	地下鉄1号線、福岡空港まで延伸
				4	博多港国際旅客ターミナルオープン
					// 日本初の閉閉式“福岡ドーム”誕生
1994	平成6	9	アジア開発銀行福岡総会開催準備委員会を設置		
1995	平成7	11	検定試験開始以来、福岡の受験者総数100万人を突破	1	阪神・淡路大震災
				7	九州自動車道が全線開通
				8	マリンメッセ福岡オープン
					// ユニバーシアード福岡大会開催

西暦	元号	月	福岡商工会議所のあゆみ	月	主な出来事
1996	平成8	4	部会再編、議員定数を100人から120人に増員		
		5	福商連、九州新幹線建設促進総決起大会を開催		
		9	福岡県中小企業総決起大会を開催、景気対策や商店街の活性化対策を決議		
1997	平成9	7	“第1回そろばんグランプリ全国大会”を福岡市で開催	4	消費税を5%に引き上げ
				5	アジア開発銀行（ADB）第30回福岡総会を開催
1998	平成10			7	中心市街地活性化法施行
1999	平成11	7	会社合同説明会を開催	4	福岡都市高速道路が九州縦貫道と直結
		9	福商パソコンスクールを開講	5	福岡空港国際線ターミナルオープン
		10	創立120周年記念式典及び祝賀会を開催	6	「博多座」開業
				8	博多港開港100周年
2000	平成12	1	ホームページ作成システムサービスを開始	5	福岡証券取引所、Q-board開設
		7	博多伝統芸能振興会、一般公募で新人芸妓を育成	6	大規模小売店舗立地法施行
				7	九州・沖縄サミット開催
2001	平成13	9	「FOOD2001」開催、「新商品・食材商談会」「福岡対話」	7	第9回世界水泳選手権福岡2001開幕
		10	第46回九州ビジネスショウで「福商ITフェア」コーナーを設		
2002	平成14	5	福利厚生サービス事業「生活習慣病検診（法定検診）」開始	5	日韓共催のFIFAワールドカップ開幕
2003	平成15	3	福岡県中小企業再生支援協議会を設置	3	九州新幹線、新八代駅～鹿児島中央駅が開業
		9	ビジネス交流会を初開催	3	福岡国際会議場開館
				9	アイルランドシティ国際コンテナターミナル供用開始
2004	平成16	4	会議所ニュースリニューアル	4	消費税の総額表示義務化
		7	福商ビジネス倶楽部を設立		
2005	平成17			2	福岡市営地下鉄七隈線、橋本～天神南で開業
				3	福岡県西方沖地震が発生
				4	九州観光推進機構発足
				10	九州大学 伊都キャンパスへの移転開始
2006	平成18	4	福商ビジネス情報便サービスを開始		
		5	販路拡大アドバイザーを活用し、県内中小企業の海外への販路拡大を支援		
2007	平成19	4	労働保険事務組合による労働保険事務代行を始める		
		6	福岡ソフトバンクホークスとの共同企画「HAWKS特別割引回数券」を企画・販売		
		9	「街なか観光」事業を推進西新・高取・藤崎で6コースの街あるきを実施		
2008	平成20	3	福岡アジアファッション拠点推進会議を設立		
		5	地域力連携拠点事業を受託、「事業承継支援センター」設置		
		10	福岡県ジョブ・カードセンターを開設		
2009	平成21	2	釜山商工鍵所と姉妹提携		
		3	福岡アジアコレクションを初開催		
		4	博多伝統芸能振興会が新人芸妓を7年ぶりに公募し、育成支援		
		6	イメージキャラクター・ロゴマークを決定		
		10	創立130周年記念式典・祝賀会を開催		
2010	平成22				
2011	平成23	2	熊本・鹿児島商工会議所と合同で九州新幹線全線開業イベントを展開	3	東日本大震災が発生
		4	九商連で「東日本大震災の復興に関する九州からの提言」採択	〃	九州新幹線鹿児島ルートが全線開業
		6	九商連で「九州における電力安定供給に関する緊急提言」採択		
2012	平成24	2	福岡県事業引継ぎ支援センターを全国6番目、九州で初めて開設	7	福岡都市高速道路環状線開通
2013	平成25	2	観光商談会を初開催	5	福岡市、人口150万人を突破
		3	ファッションウィーク福岡を初開催		
		5	福岡空港滑走路増設等整備促進期成会を設立		
		6	福岡空港滑走路増設等早期整備の促進に関する要望を提出		
2014	平成26	2	福岡検定を初実施	5	福岡市が国家戦略特区に指定
		3	食の都ふくおかを初開催		
		10	Food EXPO Kyushuを開催		
		12	ラグビーワールドカップ2019福岡招致委員会を発足		
2015	平成27			1	福岡空港の滑走路増設の方針が決定
				2	天神ビッグバン始動
				3	ラグビーワールドカップの福岡試合開催が決定
2016	平成28	4	「平成28年熊本地震からの復旧・復興に関する要望」を提出	2	新青果市場ベジブルスタジアム開場
			全国商工会議所と連携して支援活動を展開	4	平成28年熊本地震が発生
			〃 経営発達支援計画を経済産業大臣が認定		
2017	平成29	11	博多伝統芸能館を開設		
2018	平成30	5	事業承継支援ネットワーク設立		
		7	ワンストップ海外展開相談窓口を開設		
2019	平成31			1	博多コネクティット始動
	令和元			5	令和に改元